

今昔物語

その57

紀州大水害（28年水害）の記録③

大里地区



昭和28年7月撮影



現在

今回も昭和28年に発生した紀州大水害（28年水害）のときに撮影された大里地区の写真をご紹介します。

こちらの写真は現在の大里多目的集会施設付近で撮影したもので、大雨による浸水のため、ひざ下まで水に浸かりながらも傘を差して歩く人々の姿が写っています。

写真の左側の少し洋風な感じのする白い建物はお金の預け入れ、借入れを行う「無尽」と呼ばれる現在の銀行のような施設でした。その奥には、現在とほぼ同じ場所に農協があり、当時、米と梅の栽培が盛んで、倉庫には多くの米俵や梅干しを漬けたタルが保管されていたそうです。

そのほかにも散髪屋、パチンコ屋などもあったそうで、この通りは旧相野谷村のメインストリートとして大いににぎわっていました。

昔の風景写真を募集します

広報さほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

ひょうりゅう

ホテルの季節になりました

すっかり暑くなってきましたね。紀宝町では5月からゲンジボタルが見えだすことが多く、毎年写真撮影をしたり、家族と一緒に見たりして楽しみにしているのですが、今年はまだ見に行けておらず、早く見に行きたいと少々焦り気味の日々です。

また、記事でも紹介していますが、ほたる灯ろう展が4年ぶりに開催されます。僕も事務局として準備をしています。久しぶりのイベント開催ということで（年のためか）いろいろ忘れてるなあと感じつつ、準備を進めています。これからは感染症に気を付けていく必要があると思いますが、コロナを理由にやりたいことを制限される日々が一段落したのほうれいですね。

（イベントが復活し体力が心配 愛野裕基）

日焼け対策に悩む日々

だんだんと気温が高くなり、夏が近づいてきましたね。毎年これくらいの時期から悩むのが、日焼け対策です。

くもりの日こそ紫外線が強いと聞きます

が、私は日差しが強いなと感じる日や長時間外にいるとき以外は日焼け止めをこまめに塗ったり、日傘を差したりしません。私が気にしなすぎないか、帽子やアームウォーマーを貸してくれたり、私より周りの人の方が私の肌を気にしてくるくらいです。

「今は影響がなくてもいつか後悔する」とよく聞きますし、これから外での取材も増えてくるので、将来の自分のためにもまずは日焼け止めや日傘を買つところからはじめ、念入りに対策をしたいと思っています。

（いつか今の自分を恨むことになる 大森菜央）



広報担当 大森菜央



広報担当 愛野裕基